



迫地域

Vol.01

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室

令和元年 6 月発行

TEL : 0220-34-2670

FAX : 0220-34-2504

Mail:gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

教育委員会では、これまで学校再編について、保護者や地域の皆様から座談会等を通して多くのご意見を頂いてまいりました。これらの意見等を踏まえながら、平成 31 年 3 月に「登米市立小中学校等再編構想」を策定し、今年度より、登米市の子供達のために学校再編の具体化について進めてまいります。

このお知らせは、登米市の学校再編についての検討状況等について、お知らせするためのものであり、今後も随時発行してまいります（市ホームページでもご覧いただけます。）。

学校再編に係る座談会を開催しました

5 月 15 日から 30 日まで市内 9 町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催しました。座談会には、小・中学校等の保護者や地域住民など合わせて 236 人が出席しました。

迫地域については、5 月 20 日に迫公民館にて開催し、26 人の方が出席しました。

座談会では、再編構想の内容や今後の学校再編の進め方について、保護者、地域住民の方それぞれの視点から多くの意見を頂きました。

今後は、地域ごとに「学校再編準備委員会」を設置し、「地域別再編実施計画」の策定を進めていきます。

座談会で寄せられた主な意見（迫地域分）

Q 学区選択制は考えているか。

A 登米市全体で児童・生徒数が減少している。学区選択制によって現状が改善されるとは考えにくい。

Q （※1）義務教育学校など独自の取組を検討すべきではないか。

A 小中一貫校や義務教育学校にした場合でも、中学校の学校規模は改善されず、教科の免許外指導、部活動等の学校活動の制約といった課題が残されてしまう。単学級の中学校を地域に残すための小中一貫校、義務教育学校の導入は考えていない。

Q （※2）コミュニティスクールとなっている小中学校があるが、その取組は統合後どうなるのか。

A 今年の 4 月から市内全ての小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクールとなっている。統合により現在の学校で実施している取組をなくすのではなく、各地域の良さを統合した学校に組み入れ、より良い学校づくりをしていく。

Q 学校規模が大きい学校と小さい学校との統合では、統合の際に大きい学校の意見のみが反映されるのではないか。

A 再編構想では新設統合を基本としている。統合する学校同士対等に意見を出し合い良いものを作っていく形で進めて行きたい。

（※1）義務教育学校

前期 6 年、後期 3 年、計 9 年間で義務教育を一環として行う学校のこと。

（※2）コミュニティスクール

学校運営協議会が設置されている学校のこと。学校運営協議会では保護者や地域住民等を委員とし、学校運営や必要な支援に関する協議を行っています。

学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。

URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)

※ 右の QR コードからもアクセスできます。



学校再編準備委員会の設置について

教育委員会は、各地域の実情を踏まえた学校再編を進めるため、各地域に学校再編準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置します。

● 委員の構成

- 1 小中学校児童生徒の保護者の代表者
- 2 学校運営協議会の代表者
- 3 行政区長会等の代表者
- 4 未就学児の保護者の代表者

※ 広く意見を頂くために委員以外の方にも準備委員会への出席をお願いすることがあります。

● 活動内容

準備委員会では、「地域別再編実施計画」策定のために、次の事項について検討し、教育委員会と合意形成を図っていきます。

- 1 統合の実施
- 2 再編新校の位置
- 3 統合の時期
- 4 通学支援
- 5 その他必要事項

● 設置時期

前期計画の地域（東和、米山、南方、津山）は、今後、順次設置を行います。後期計画の地域（迫、登米、中田、豊里、石越）は、現段階ではまだ先の取り組みになりますが、前期計画の地域の進捗状況によっては設置時期が早まる可能性があります。



学校再編の進め方（概要図）

